

初めての 全国会議

埼玉のワーカーズ・コレクティブの仲間が、現地実行委員会を組織し全国会議の実施につなげました。

実行委員としてかかわったメンバーにとって、ワーカーズ・コレクティブの力を感じる機会となりました。

社会的連帯経済が身近に…

実参加者400名、出会う人の多くはワーカーズ・コレクティブの仲間たち、そしてその私たちの事業や活動に共感をする人々。こんなにも全国に同じ思いを持つ人々がいる、それだけで力がわいてきます。

雪の心配をしながら組み立てた全国会議でしたが、実行委員として企画運営にかかわった人々に「ワーカーズ・コレクティブの力はすごい！」みんなの力を合わせれば大きなことが成し遂げられると感じました。

今回のテーマであった社会的連帯経済について改めて身近なものとなり、様々な団体や人々との出会いは貴重なものであり、共に「社会的連帯経済」を広げていきたいと思いました。 安島

みんなの力で大きなことを成し遂げる

全国会議に参加した事のない私が、現地実行委員として参加することになり、どのようなことをするのか不安からの始まりでした。

全国からいらした方が受付や懇親会会場で、楽しそうに話されているのを見て、Zoomではない交流が大切だと思いました。

分科会の担当の打合せの時も、進行される方が細かく確認し円滑に進むよう確認されていました。そうやって一つの大きなことを成し遂げていることを知る良い機会となりました。

現地実行委員として関わりお名前のみしか知らなかった方々とかお会いできたこと、懇親会で他のワーカーズの方々とお話できたことはよい経験となりました。 犬竹



社会的連帯経済

「つながる」ことで循環するもう一つの経済

「社会的連帯経済」は実は私たちの身近にあります。またその連携が大きな力となり、地域のセーフティネットとして機能している事例があります。

よりよい社会づくりのための事業

私たちが暮らす社会は様々な問題を含んでいます。格差の拡大、環境破壊、厳しい労働環境など。肥大化した一部の企業が行う経済活動は、私たちの暮らしの隅々にまであり、あたり前なものになっています。しかし、そこで働く人々の過酷な労働により成り立っています。そのサービスやものの提供だけで人々は幸せに暮らすことが

できるのでしょうか？ 環境破壊は止められるのでしょうか？「何のために働くのか？」といった疑問を持つ人々も多くなっている昨今です。

自分たちだけが多くの利益を求め、得るのではなく、助け合って協働し、人々が人間らしく働く、そのような事業者や団体のネットワークで暮らしや地域が豊かになる、もうひとつの経済、それが「社会的連帯経済」なのです。

大企業による経済的支配に対抗するものでもあります。

私たちワーカーズ・コレクティブも連帯経済

行政や生協と連携し、地域住民の暮らしに役立つサービスを提供する福祉を事業とするワーカーズ・コレクティブ。地域の生産者の農作物を活用し安全性確かな食を提供するワーカーズ・コレクティブ。使い捨ての生活から古いものを生かし再生するリサイクルに取り組むワーカーズ・コレクティブ。その商品を生活に活かす市民。その経済は社会的連帯経済なのではないでしょうか。

そのネットワークはもう一つの経済となり、暮らしを守るセーフティネットになるのではないのでしょうか。